

ありまふじ里山だより

Vol.25

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.25は里山で見つきたいきものと新緑の様子についてお届けします。



里山のいきもの!?

かやぶき民家の近くにある湿地では、カエルの大合唱！
棚田では「ケンケン」というキジの甲高い鳴き声をよく耳にします。4月になって、つがいで歩く姿もよく見かけます。街中ではなかなかお目にかかれませんが、田んぼが広がるような場所では慣れ親しんだ存在。昔話にも登場するように、昔から人の住むそばで暮らしていたのでしょう。
一方、福島大池のほとりでは、ヌートリアの姿を発見！草を食む愛らしい姿に思わず見とれてしまいましたが、こちらは特定外来生物。

新緑に映える木々の花

里山ではコバノミツバツツジやウワミズザクラがきれいに咲き誇っています。
木々の葉っぱもずいぶんと展開し、日に日に山の青さが増しているように感じます。
有馬富士も山裾から山頂にかけて、新緑の季節らしく薄い緑から濃い緑まで様々な緑が散りばめたようになっています。
日本の伝統色では、緑色だけでも数十種類あるといわれています。有馬富士を眺めながら、実際に何色ぐらい区別できるか数えてみてはいかがでしょうか？